

進路指導部では、各学部におけるキャリア教育の取り組みを紹介しています。社会形成能力の集団参加・協力・協働の理解には、自分の役割を知り、友達と協力して集団で活動することや、責任をもって役割を遂行することが大切です。それぞれの段階や実態に応じた学習をしています。

小学部（社会形成能力の育成）

小学部ミニ運動会が学年ごとに行われました。自分の走順や役割を理解して集団活動に取り組みました。友達と協力しながら頑張る姿も多く見られました。

「みんなで息を合わせて、ワッショイ、ワッショイ、ワッショイ！
バイキンマンをやっつける！」



中学部～作業班の紹介

中学部の作業学習では、家庭班と工芸班の2班に分かれて活動しています。

家庭班では、刺し子班とマット班に分かれ製品作りに取り組んでいます。ペンケースやランチョンマットを制作していく中で、道具の使い方やその特徴を確認し、作業技能の向上を目指しています。製品の完成まで、自分の仕事に責任をもって取り組んでいます。

工芸班では、パルプを使ってカレンダーや油取りパックを作っています。パルプの抽出のために、牛乳パックを煮込んだのち、ラミネートをはがしていきます。抽出されたパルプは指で細かくちぎり、ミキサーでさらに細かくします。その後①ミルサーでパルプをふわふわにして油取りパックになる②紙すきをしてカレンダーになる工程に進んでいきます。自分が担う工程が次の工程につながっていることを意識しながら取り組んでいます。



高等部～一日作業日～

今年度1回目の、始業から終業まで作業学習に取り組む「一日作業日」がありました。職業生活への適応力を高めるため、月に一回程度行われます。農芸班では、落花生の種蒔きを行いました。マルチに穴を開ける生徒、種を入れる生徒、土をかける生徒などに分かれ、仕事を分担して、協力して作業を行いました。いつもより長い時間取り組むため、ペースも異なり少し疲れた様子も見られましたが、時間いっぱい最後まで自分の仕事に取り組めました。(株)オクヤピーナッツジャパンの社長様方にも来校していただき、技術指導を受けました。

